

投 稿 規 定

- 1) 精神療法, 精神病理に関連する研究報告, 症例研究, 資料など, 未発表の論文を掲載します。
 - 2) 原稿の採否は本誌編集委員会が決定します。
 - 3) 採用された原稿は, 原則として下記の欄に掲載されますが, 採用の条件は以下の通りです。
 - ・「研究報告」: 臨床経験に基づく知見, 技法的試みやその他の研究成果などを明確に記したもの。規定枚数は30枚以内(四百字詰め原稿用紙)とし, 論文題名・氏名・所属のそれぞれに欧文をつけて下さい。なお, 図と表はあわせて10枚以内とし, 1枚ずつ別紙に貼付した上で本文に図版挿入箇所を明示して下さい。
 - ・「研究報告」「症例研究」「誌上スーパービジョン症例」「資料」については, 別に抄録(600字以内)とキーワード(5つ以内)を添えること。
 - ・「症例研究」: 症例の特徴・経過を具体的に記載したもの。失敗例や未終結のものでも歓迎します。規定枚数その他は「研究報告」に準じます。
 - ・「誌上スーパービジョン症例」: 「研究報告」に準じますが, 編集委員またはその他の方のコメントによるスーパービジョンを加えて広く実際の臨床に益するところを目指すもの。規定枚数その他は「研究報告」に準じます。
 - ・「論説」「資料」: 臨床経験に基づき, 著者の見解を示したり新たな問題を提起したりするもの, もしくは資料として価値があると判断されるもの。規定枚数その他は「研究報告」に準じます。
 - ・「文献紹介」: わが国でまだ十分に知られていない論文の紹介。雑誌・単行本, 邦文・欧文, 古典・新刊の別は問いません。枚数その他は「研究報告」に準じます。
 - ・「紹介」: 上記以外で報告に値すると考えられるもの。形式は自由で, 規定枚数その他は「研究報告」に準じます。
 - ・「短報」: 臨床上の工夫や試み, 気づきなどを, 試論的または速報的に報告したもの。形式は「研究報告」に準じるが規定枚数は12枚とし, 抄録, キーワードは不要。
 - ・「海外だより」「海外の動向」「最近の動向」: 精神療法をめぐる動きや話題など。枚数は12枚以内, 形式は自由。
 - ・「討論のひろば」: 本誌に掲載された論文などに対する反論, 補足, 感想など。枚数は3~10枚以内, 形式は自由。
 - ・「当事者(患者・クライアント)および家族, 関係者の精神療法についての意見」: 精神療法やそれに関連する精神保健活動に対する意見や感想。枚数は7枚以内, 形式は自由。
 - 4) 投稿の際は下記の点に注意して下さい。
 - i) 報告されるケースのプライバシーに関しては, 著者が責任をもって十分配慮すること。
 - ii) 原稿は四百字詰め原稿用紙に横書き, 新かな, 常用漢字, 算用数字を用い, はっきりした字体で書いて下さい。ワードプロセッサ使用の場合, A4判に1,200字詰(40字×30行)にし, 行間は全角以上おとり下さい。
 - iii) 外国の学者名, 薬品名は原語で, 述語は邦語を用い, 必要な場合のみ()内に原語を示して下さい。また本文では「Cl」「Th」などの略表記は原則使用しないこととし, 「患者」「クライアント」「治療者」「セラピスト」などのように略さず表記してください。
 - iv) 文献は, 著者名(3名以上は“他”とする), 発行年次, 題名(単行本は書名), 誌名(単行本は出版社), 巻, 頁数(通巻頁数の最初と最後)の順に, 著者名のアルファベット順(同名の場合は発表順)に並べ, 本文中では, 著者名(発行年)で引用して下さい。誌名は公の略称を用いて下さい。

[邦文例] 上西清・桐本孝次・佐々木誠, 他(1992)『生き方』の結果としての慢性疾患—1 症例に基づく考察, 精神療法 18(3): 241-247.

土居健郎(1971)『甘え』の構造, 弘文堂.

小川信男(1984) 家族防衛と家族療法—分裂病と心因反応の比較. (河合隼雄・岩井寛・福島章編) 家族精神療法, 金剛出版.

[欧文例] Kohut H (1959) Introspection, empathy, and psychoanalysis. J Amer Psychoanal Assn 7: 459-483.

Balint M (1968) The Basic Fault: Therapeutic aspects of regression. The Tavistock Publication. (中井久夫訳(1978) 治療論からみた退行—基底欠損の精神分析, 金剛出版)

Knight RP (1954) Management and psychotherapy of the borderline schizophrenic patient. In Knight RP (ed.) Psychoanalytic Psychiatry and Psychology. International Universities Press.

 - v) 希望があれば, 欧文抄録(50語以内)をつけて掲載します。
- 5) 別刷りは, 希望部数(50部単位)により実費をいただきます。筆者校正の時にお申し込み下さい。PDFをご希望の方には, さしあげます。
- 6) 原稿は, 上記各欄の別を明記し, コピー2部を添えて, 〒112-0005 東京都文京区水道1-5-16 (株)金剛出版「精神療法」編集部宛てに郵送, または seishinryoho@kongoshuppan.co.jp 宛に電子メールにて送付してください。
- 7) 雑誌掲載論文を電子媒体等に転載する際の二次使用権については当社に保留させていただきます。ご了承下さい。